

平成 26 年 1 月 16 日
健康福祉総務課

香川県がん検診受診者数調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨・目的

本県における今後のがん検診の受診率向上等の施策に活用するため、県内の全医療機関(健診機関を含む)において実施されたがん検診の受診者数を把握することを目的としている。

受診率については、厚生労働省の地域保健・健康増進事業報告及び国民生活基礎調査による公表数値があるが、いずれも推計値であることから、より正確な受診率を測定するために、本調査を県独自で行った。

(2) 調査対象

医療法(昭和 23 年法律第 205 号)に基づく病院及び診療所(以下「医療機関」という。)

(3) 調査事項

平成 24 年度に県内の医療機関において実施されたがん検診(胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺)を受診した者の数

(4) 調査方法

県下の全医療機関に対して調査票を郵送し、医療機関は調査事項について調査票に記載し、郵送により回収する。

(5) 調査期間

平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 8 月 30 日

(6) 調査の委託

調査票の送付・回収、調査内容の集計については、業者に委託

2 調査の集計方法

(1) 回収率

医療機関 984 施設(病院 93 施設、診療所 891 施設)に調査票を配布したところ、回答のあった医療機関数は 790 施設あり、回収率は 80.3%であった。

(2) 集計対象

回答のあった医療機関 790 施設(病院 85 施設、診療所 705 施設)のうち、がん検診を実施している医療機関 573 施設(病院 79 施設、診療所 494 施設)において実施されたがん検診の受診者数を、集計の対象とした。

(3) 受診率

受診率＝受診者数／がん検診対象となる香川県の人口

なお、子宮がん検診、乳がん検診の受診率については、検診の受診間隔が2年となっているので、「がん検診対象となる香川県の人口」は1／2で算出している。

(4) 人口

香川県人口移動調査（県統計調査課）の平成24年10月1日現在の年齢別推計人口を用いた。（ただし、年齢不詳は除く。）

平成24年10月1日の年齢別推計人口(香川県人口移動調査報告) (人)

年齢	男	女	計
20歳以上	375,756	421,776	797,532
40歳以上	272,129	318,518	590,647
総数	476,717	512,442	989,159

3 調査結果の概要

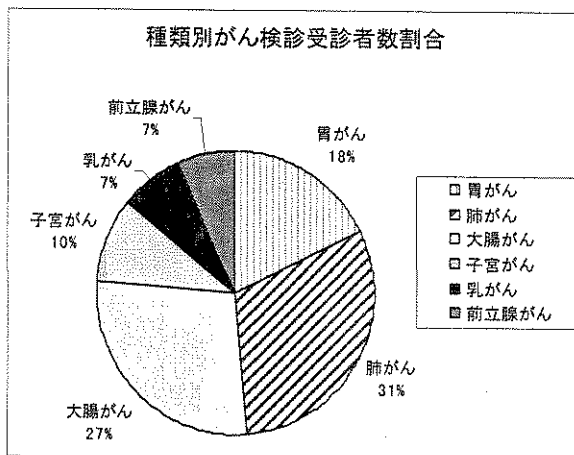
(1) がん検診受診者数について

がん検診の延べ受診者（40歳以上の者。ただし、子宮がん検診は20歳以上）数は、734,156人となっている。

種類別にみると、「肺がん検診」が226,931人と最も多く、「大腸がん検診」、「胃がん検診」の順になっている。

表1 種類別がん検診受診者数

種類	受診者数(人)
胃がん検診	130,917
肺がん検診	226,931
大腸がん検診	200,384
子宮がん検診	72,810
乳がん検診	53,742
前立腺がん検診	49,372
計	734,156



(2) がん検診受診率

ア 調査結果

がん検診受診率（前立腺がん検診を除く）は32.0%となっている。「肺がん検診」が38.4%と最も高く、次いで「子宮がん検診」が34.5%、「大腸がん検診」が33.9%、「乳がん検診」が33.8%、「胃がん検診」が22.2%の順になっている。

なお、「前立腺がん検診」は18.1%、前立腺がんを含む全体のがん検診受診率は30.4%となっている

種 類	受診率(%)
胃がん検診	22.2
肺がん検診	38.4
大腸がん検診	33.9
子宮がん検診	34.5
乳がん検診	33.8
計(前立腺がんを除く)	32.0
前立腺がん検診	18.1
計	30.4

イ 他の2調査との比較（※）

「地域保健報告・健康増進事業報告」と比較してみると、すべての種別で高くなっている。

また、「国民生活基礎調査」と比較してみると、「子宮がん検診」「乳がん検診」はほぼ同じとなっているものの、それ以外の検診では大きな差が見られる。

具体的に見ると、「胃がん検診」については、健康増進事業等報告では9.0%、国民生活基礎調査では30.1%、香川県がん検診受診者数調査では22.2%とそれぞれの調査で大きく数値が異なっている。また、国民生活基礎調査と香川県がん検診受診者数調査との比較では、「肺がん検診」がそれぞれ27.0%と38.4%、「大腸がん検診」が27.5%と33.9%と大きな差が見られる。

【参考】 地域保健・健康増進事業報告、国民生活基礎調査のがん検診受診率

種 類	健康増進事業等 報告(H23)	国民生活基礎 調査(H22)	香川県がん検診 受診者数調査
胃がん検診	9.0	30.1	22.2
肺がん検診	26.0	27.0	38.4
大腸がん検診	27.3	27.5	33.9
子宮がん検診	27.8	34.3	34.5
乳がん検診	25.2	31.5	33.8
計	22.6	29.6	32.0

※ 調査対象年度が異なっており、単純比較できない。

(3) がん検診実施医療機関数

回答があった医療機関のうち「大腸がん検診」と「前立腺がん検診」を実施している医療機関がそれぞれ507施設と最も多くなっている。次いで、「肺がん検診」が349施設、「胃がん検診」が340施設の順となっている。

表3 種別別実施医療機関数 (施設)

種 類	医療機関数		
	病院	診療所	計
胃がん検診	63	277	340
肺がん検診	59	290	349
大腸がん検診	77	430	507
子宮がん検診	46	191	237
乳がん検診	46	189	235
前立腺がん検診	72	435	507

